

今治市総合計画策定に係る市民アンケート結果報告書（概要）

1 調査概要

（1）調査目的

本調査は、少子高齢化や人口減少など、市民を取り巻く環境が大きく変化している中、これらの環境の変化に対応するための新たなまちづくりのあり方を示す総合計画を策定するにあたり、市民の意見を把握するために実施した。

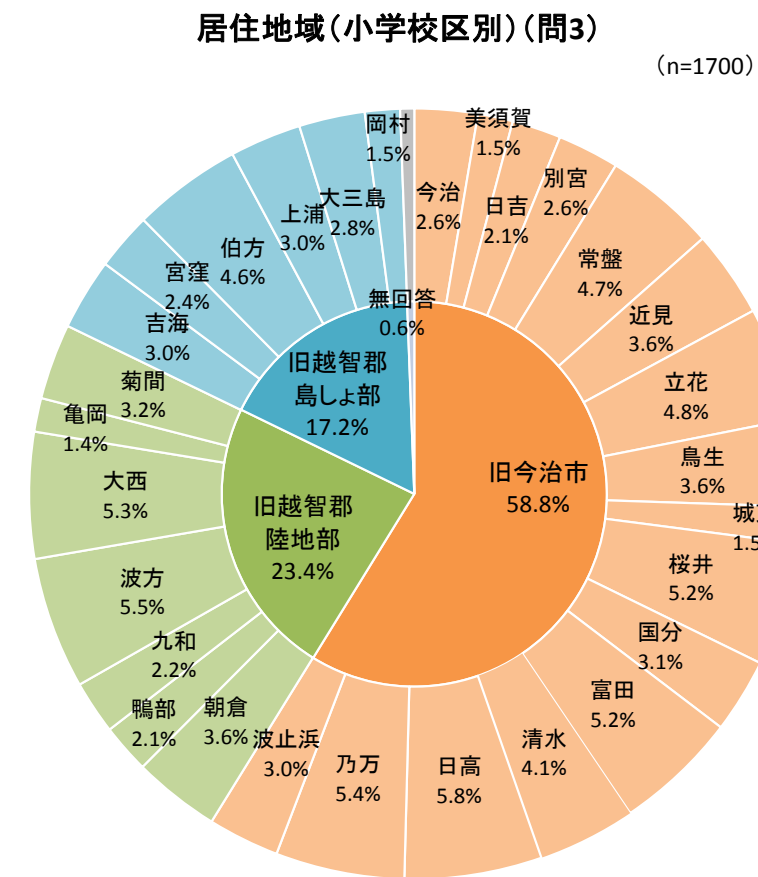
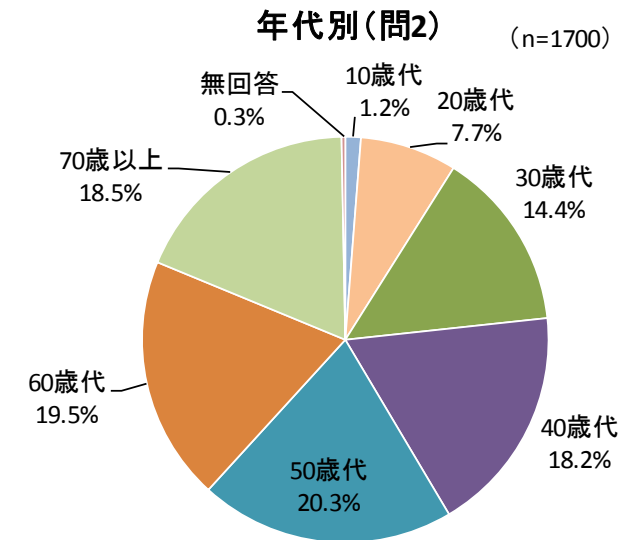
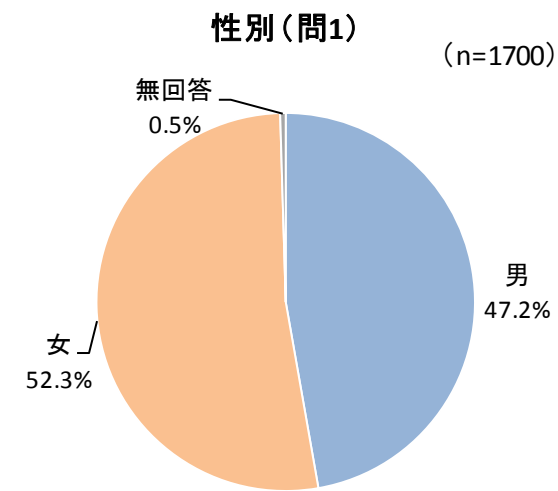
（2）調査項目

- ①回答者の概要
- ②日常生活やまちづくりへの満足度
- ③居住意向、暮らしやすさの評価、まちづくりへの参画等
- ④施策の重要度
- ⑤まちづくりのテーマなど

（3）調査方法

- ①調査対象 18歳以上の今治市民 3,500人（住民基本台帳から無作為抽出）
- ②調査方法 郵送による送付・回収
- ③実施時期 平成26年8月11日～29日
- ④配布数 3,500
- ⑤回収数 1,709（回収率48.8%）
- ⑥有効回答数 1,700（回答率48.6%）
- ⑦地域別回答数 旧今治市 1,000（回答率48.3%）、旧越智郡陸地部 397（回答率49.8%）、旧越智郡島しょ部 293（回答率46.4%）

2 回答者の属性



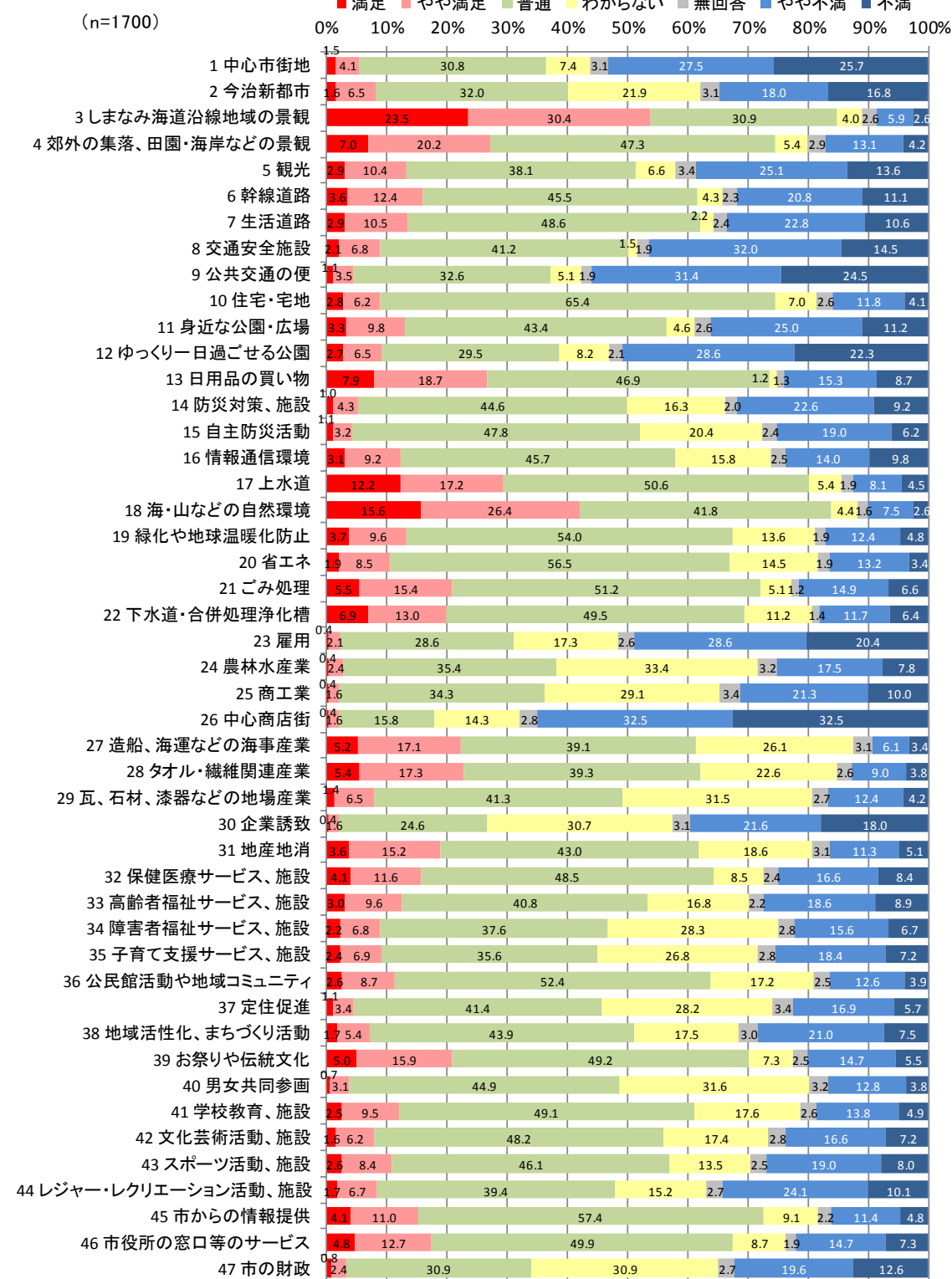
3 満足度

(1) 47項目の比較

日常生活やまちづくりの状況に関して、どの程度の満足感を持っているか尋ねた。

その結果、47項目中10項目で「満足」「やや満足」の合計が「やや不満」「不満」の合計を超えている。「3 しまなみ海道沿線地域の景観」「18 海・山などの自然環境」は、「満足」「やや満足」を合わせて40%以上を占めている。また、「1 中心市街地」「9 公共交通の便（バス・鉄道・船など）」「12 ゆっくり一日過ごせる公園」「26 中心商店街」は、「やや不満」「不満」を合わせて50%以上を占めている。

満足度の回答割合－全体－



(2) 点数化による比較

47項目について、「満足」4点、「やや満足」2点、「普通」0点、「やや不満」-2点、「不満」-4点の点数配分を行い、その点数の合計値を「わからない」「無回答」を除いた各設問の回答総数で割り、点数化した。

その結果、点数が高かったのは「3 しまなみ海道沿線地域の景観」「18 海・山などの自然環境」、「17 上水道」であり、点数が低かったのは「26 中心商店街」「30 企業誘致」「23 雇用」であった。

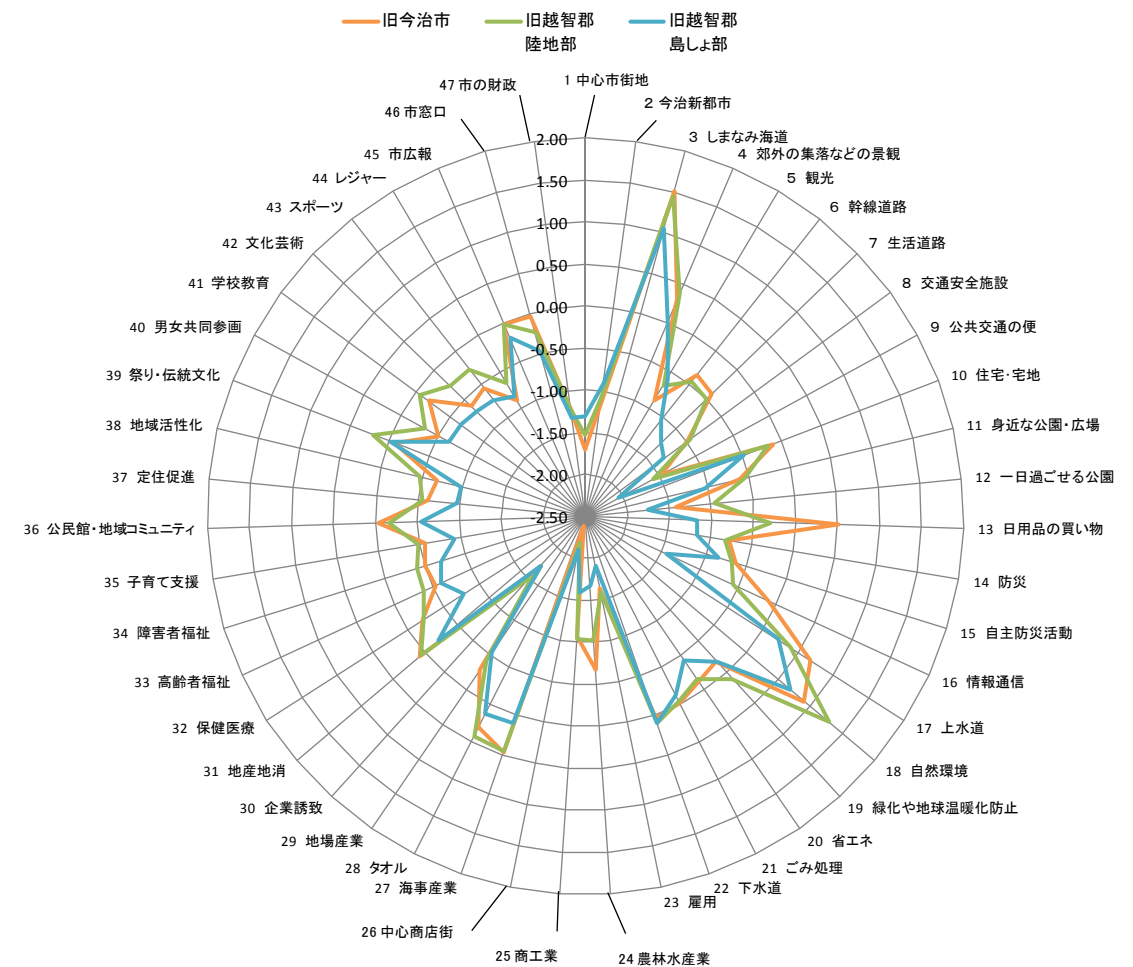
上位10項目

順位	項目
1位	3 しまなみ海道沿線地域の景観
2位	18 海・山などの自然環境
3位	17 上水道
4位	27 造船、海運などの海事産業
5位	28 タオル・繊維関連産業
6位	4 郊外の集落、田園・海岸などの景観
7位	22 下水道・合併処理浄化槽
8位	13 日用品の買い物
9位	31 地産地消
10位	39 お祭りや伝統文化

下位10項目

順位	項目
38位	8 交通安全施設（歩道・車道など）
39位	2 今治新都市
40位	25 商工業
41位	47 市の財政
42位	12 ゆっくり一日過ごせる公園
43位	1 中心市街地
44位	9 公共交通の便（バス・鉄道・船など）
45位	23 雇用
46位	30 企業誘致
47位	26 中心商店街

満足度の点数比較－3地域別－



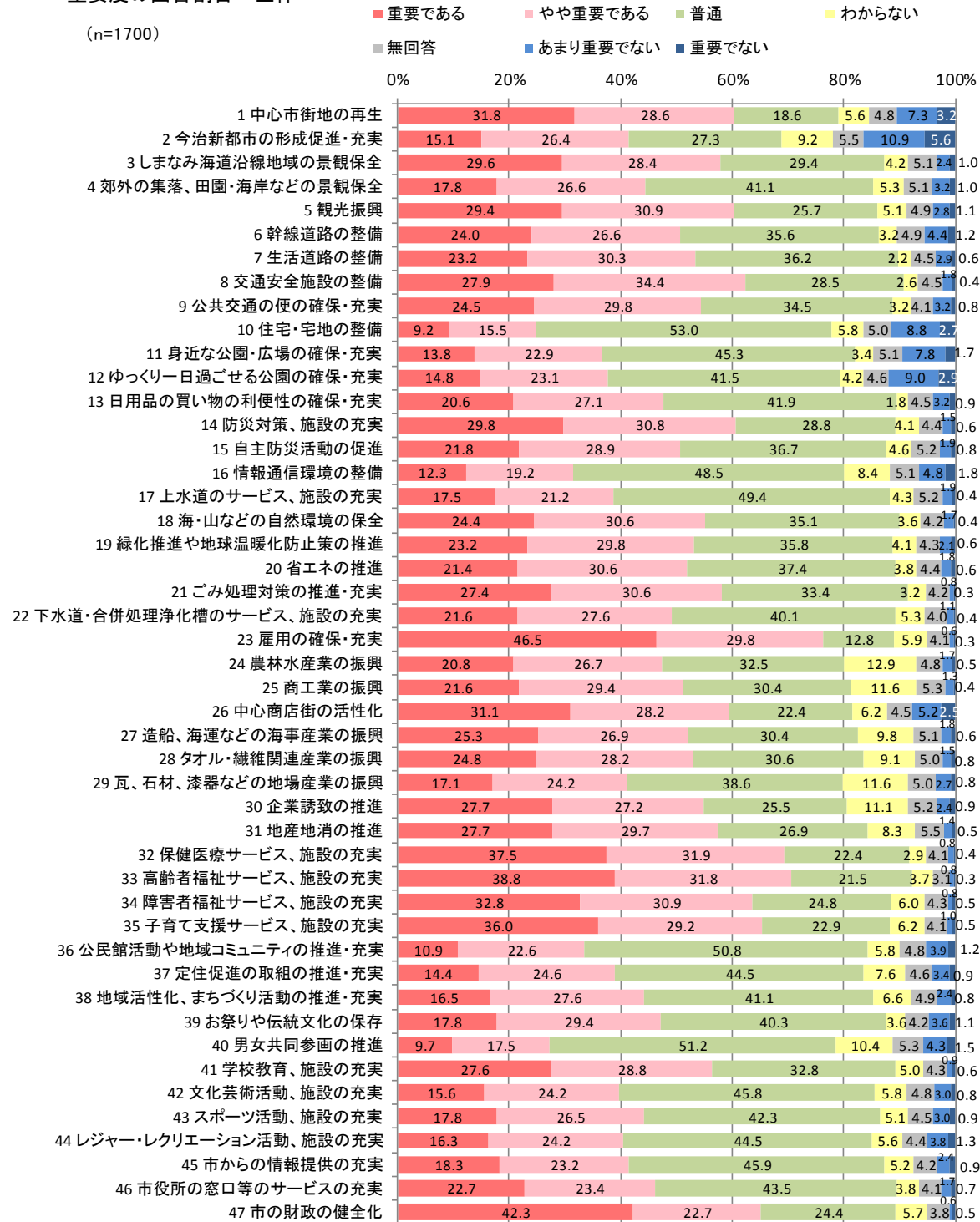
4 重要度

(1) 47項目の比較

日常生活やまちづくりの状況に関する満足度についての項目に対して、今後、今治市が行う施策としての重要度について、自分の気持ちに近いものを尋ねた。

その結果、47項目中26項目で「重要である」「やや重要である」の合計が50%を超えている。「重要である」「やや重要である」が最も多いのは「23 雇用の確保・充実」で、76.3%である。次いで、「33 高齢者福祉サービス、高齢者福祉施設の充実」が70.6%、「32 保健医療サービス、保健医療施設の充実」が69.4%、「35 子育て支援サービス、子育て支援施設の充実」が65.2%、「47 市の財政の健全化」が65.0%で、いずれも65%以上を占めている。

重要度の回答割合—全体—



(2) 点数化による比較

満足度の点数化と同様に、「重要である」4点、「やや重要である」2点、「普通」0点、「あまり重要でない」-2点、「重要でない」-4点として点数配分を行い、その点数の合計値を「わからない」「無回答」を除いた各設問の回答総数で割り、点数化した。

その結果、点数が高かったのは「23 雇用の確保・充実」「47 市の財政の健全化」「33 高齢者福祉サービス、高齢者福祉施設の充実」であり、点数が低かったのは「10 住宅・宅地の整備」「40 男女共同参画の推進」「2 今治新都市の形成促進・充実」であった。

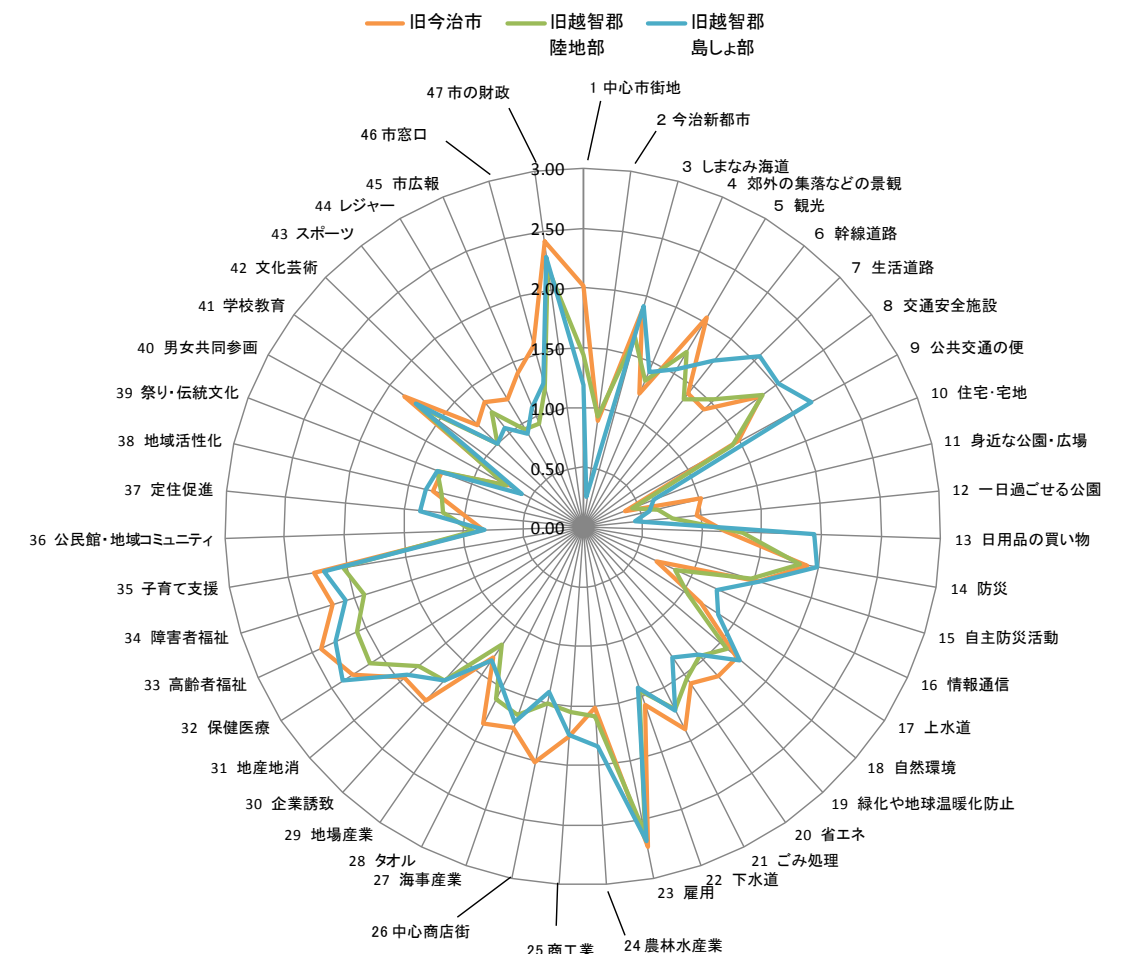
上位 10 項目

順位	項目
1位	23 雇用の確保・充実
2位	47 市の財政の健全化
3位	33 高齢者福祉サービス、高齢者福祉施設の充実
4位	32 保健医療サービス、保健医療施設の充実
5位	35 子育て支援サービス、子育て支援施設の充実
6位	34 障害者福祉サービス、障害者福祉施設の充実
7位	31 地産地消の推進
8位	14 防災対策、防災施設の充実
9位	8 交通安全施設（歩道・車道など）の整備
10位	5 観光振興（誘客イベントも含む）

下位 10 項目

順位	項目
38位	42 文化芸術活動、文化芸術施設の充実
39位	44 レジャー・レクリエーション活動、レジャー・レクリエーション施設の充実
40位	37 定住促進の取組の推進・充実
41位	11 身近な公園・広場の確保・充実
42位	36 公民館活動や地域コミュニティの推進・充実
43位	12 ゆっくり一日過ごせる公園の確保・充実
44位	16 情報通信環境（CATV、インターネット等）の整備
45位	2 今治新都市の形成促進・充実
46位	40 男女共同参画の推進
47位	10 住宅・宅地の整備

重要度の点数比較—3地域別—

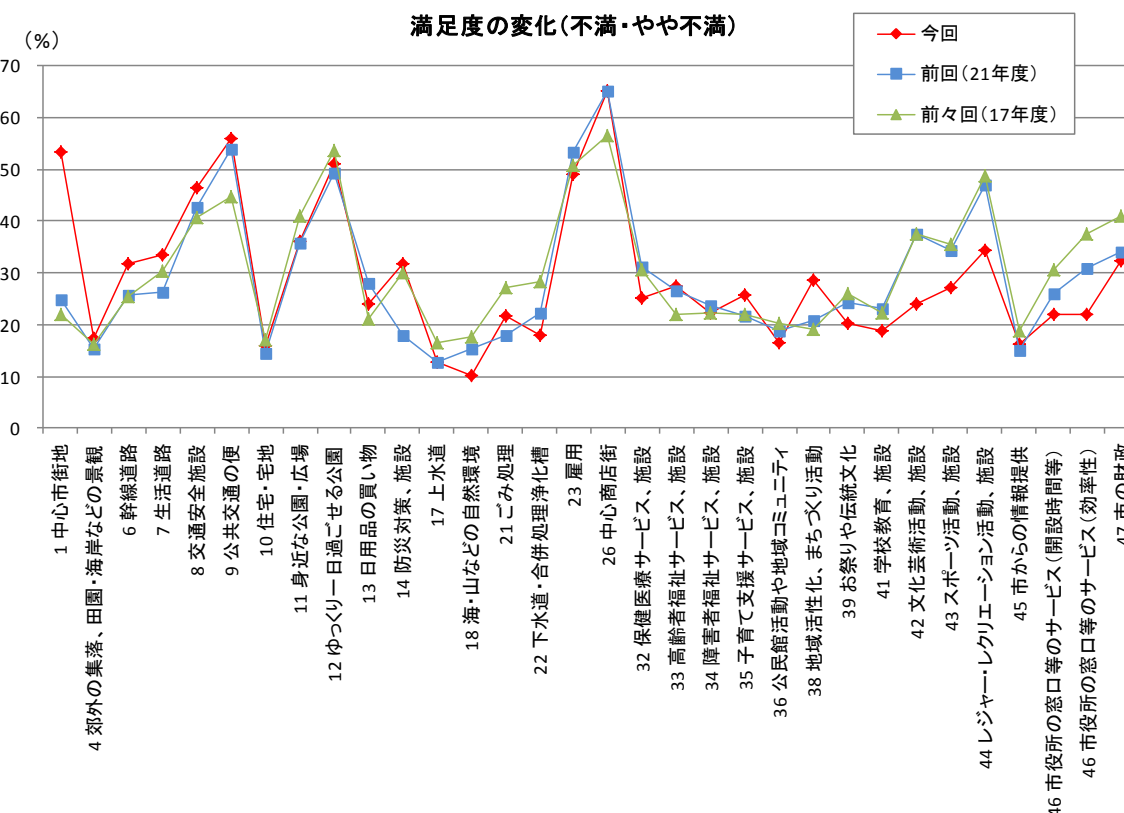
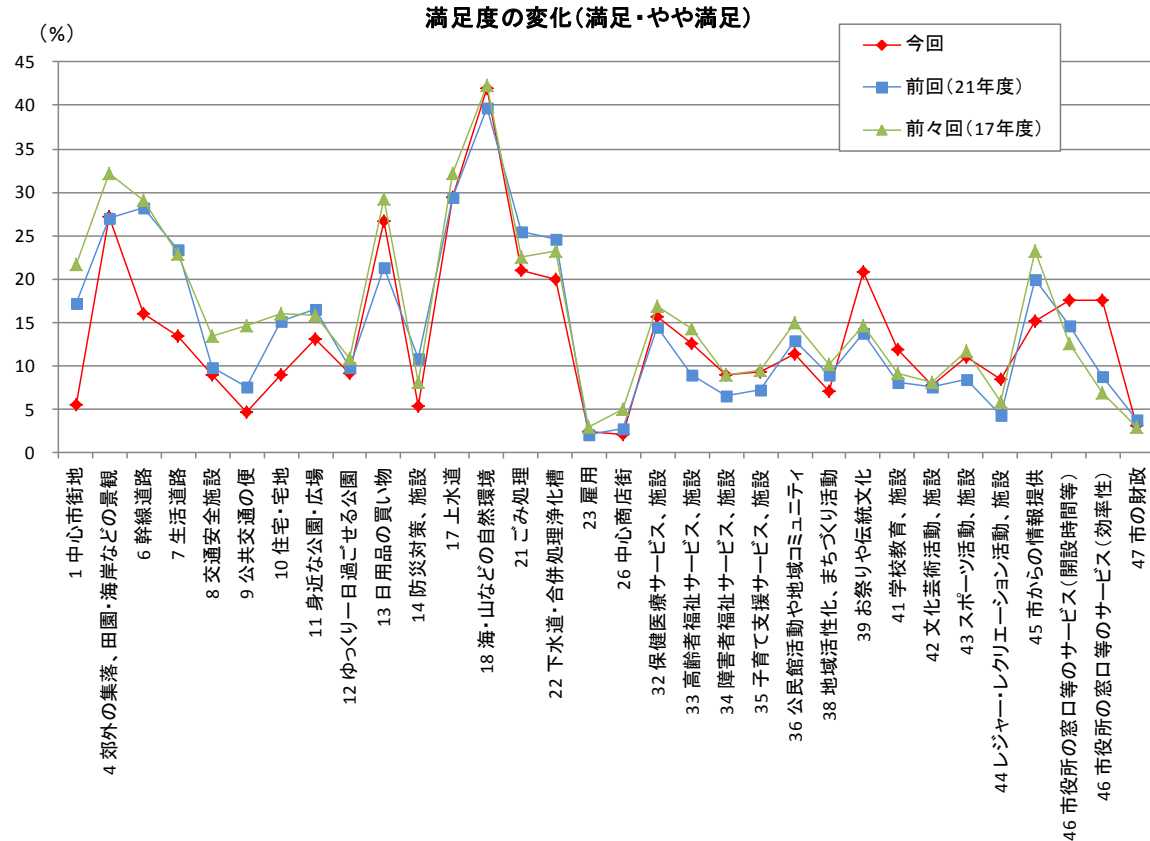


5 前回、前々回との比較

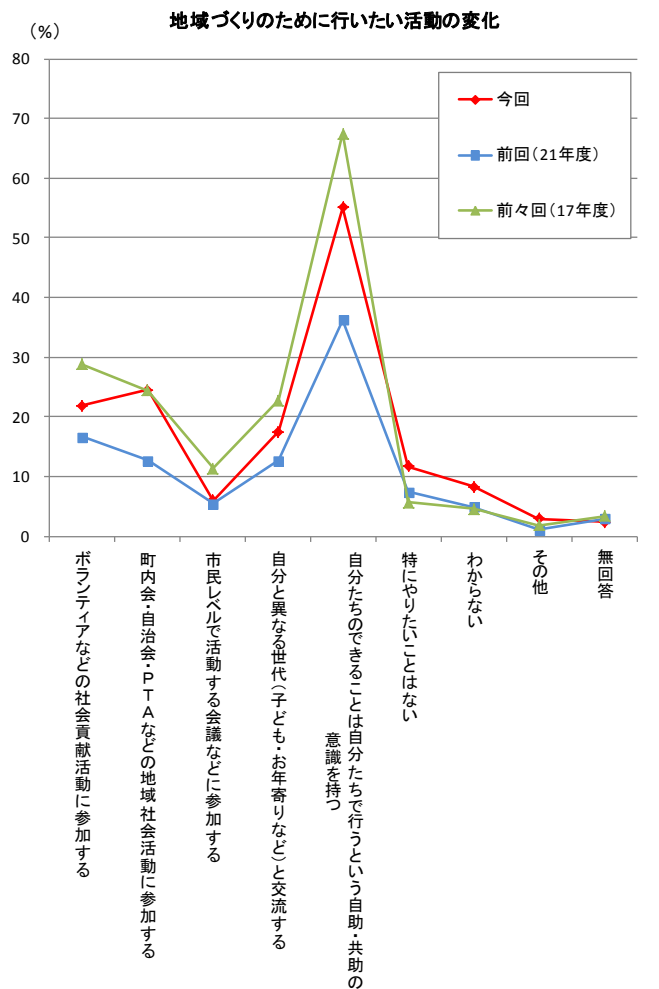
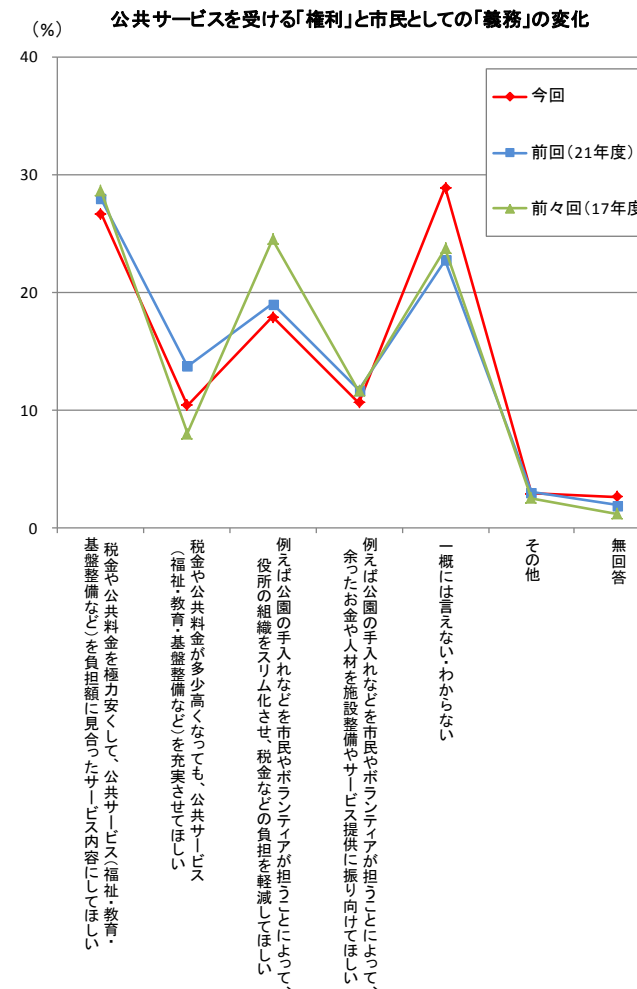
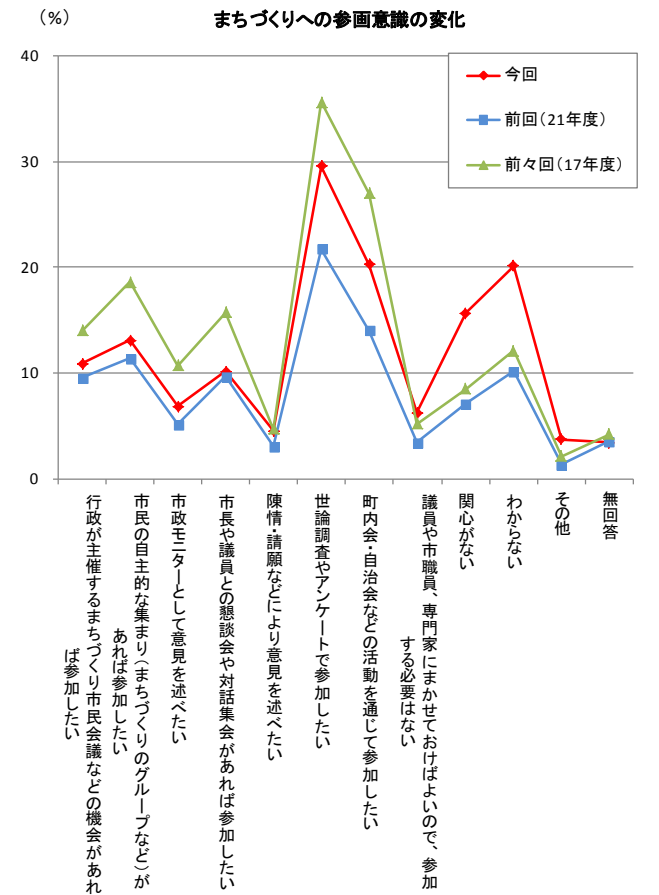
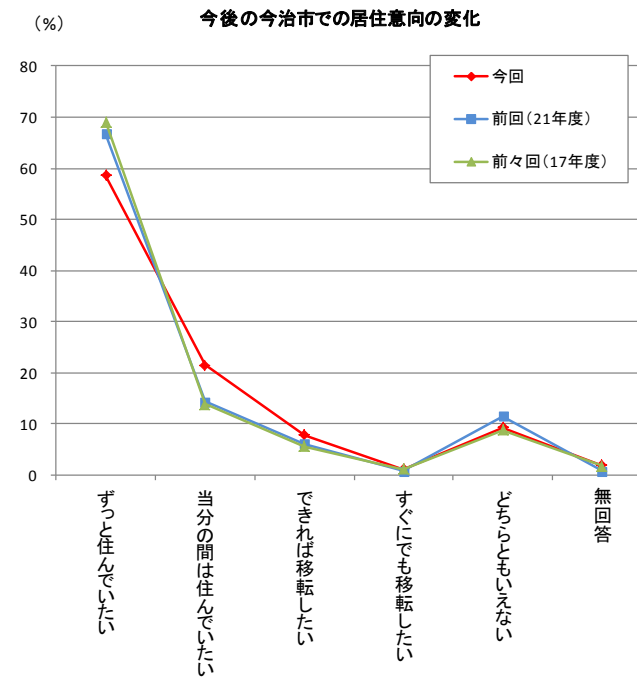
(1) 満足度

前回（平成 21 年度）、前々回（平成 17 年度）の調査結果と比較すると、「満足・やや満足」では「1 中心市街地」「6 幹線道路（高速道路・国道・県道）」「7 生活道路（その他の道路）」において前回より 10 ポイント以上下回っており、「39 お祭りや伝統文化」において 5 ポイント以上、「46 市役所の窓口等のサービス（効率性）」において約 10 ポイント上回った。

また、「不満・やや不満」では、「1 中心市街地」において前回より 30 ポイント近く上回った。



(2) 居住意向、まちづくり参画意識、公共サービスを受ける「権利」と市民としての「義務」、地域づくりのために行いたい行動



6 満足度と重要度の点数比較

(1) 満足度と重要度の点数比較

47項目について、重要度の点数から満足度の点数を引いた点数により比較を行った。

その結果、点数が高かったのは「23 雇用」「26 中心商店街」「47 市の財政」であり、点数が低かったのは「3 しまなみ海道沿線地域の景観」「10 住宅・宅地」「17 上水道」であった。

上位10項目

順位	項目
1位	23 雇用
2位	26 中心商店街
3位	47 市の財政
4位	30 企業誘致
5位	1 中心市街地
6位	9 公共交通の便（バス・鉄道・船など）
7位	8 交通安全施設（歩道・車道など）
8位	25 商工業
9位	33 高齢者福祉サービス、高齢者福祉施設
10位	35 子育て支援サービス、子育て支援施設

下位10項目

順位	項目
38位	39 お祭りや伝統文化
39位	45 市からの情報提供（広報・ホームページなど）
40位	16 情報通信環境（CATV、インターネット等）
41位	40 男女共同参画
42位	36 公民館活動や地域コミュニティ
43位	4 郊外の集落、田園・海岸などの景観
44位	18 海・山などの自然環境
45位	17 上水道
46位	10 住宅・宅地
47位	3 しまなみ海道沿線地域の景観

(2) 満足度と重要度の点数の分布

横軸を満足度、縦軸を重要度とし、それぞれの平均点を交点とした分布図に、各項目の点数により分布している。

その結果、満足度が低く、重要度が高い左上（第2象限）に「23 雇用」「26 中心商店街」「47 市の財政」などが並んでいる。この象限の項目は、早急な対応が必要と考えられる。

項目別の満足度と重要度の点数の分布状況ー全体ー

